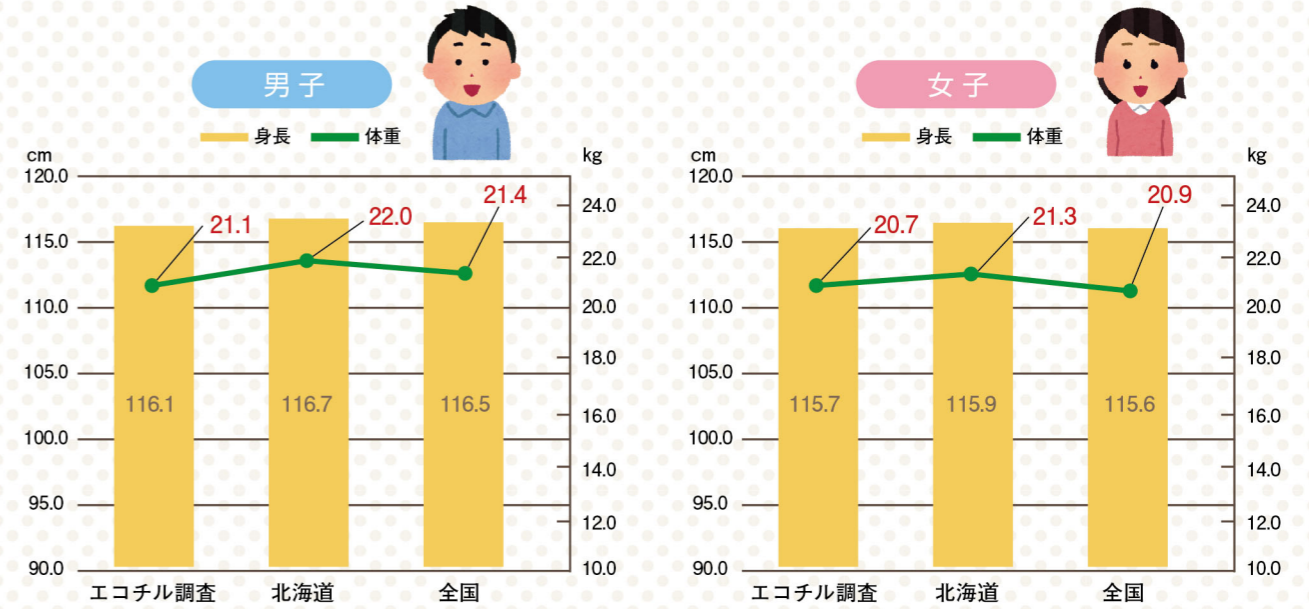


調査からわかったこと

エコチル調査北海道ユニットセンターの参加者のみなさまにご記入いただいた質問票から、調査結果の一部をご紹介します。
(なお、このデータは2020年1月7日現在の回答に基づく暫定的な数字です。)

子どもの成長・発育をみると、身長と体重を測る方が多いのではないのでしょうか。エコチル調査でも、ほとんどすべての年齢・学年別質問票で、お子さんの身長と体重をご記入いただいています。子どもの発育にはそれぞれの個性があります。発育のパターンもそれぞれで、ゆっくり身長が伸びる子もいますが、一方では早く伸びてしまって、その後はあまり伸びずにいる子もいます。また、生活習慣の影響で子どもでもメタボリック症候群(メタボリックシンドローム)が起こりうるとも言われています。そこで今回は、4歳～小学1年の質問票から、お子さんの身長と体重を集計し、男女別の平均を出してみました。北海道および全国の平均身長・体重もあげましたので、お子さんの発育状況をみる際の参考にしてみてください。

(出典:一般社団法人日本小児内分泌学会ホームページ)

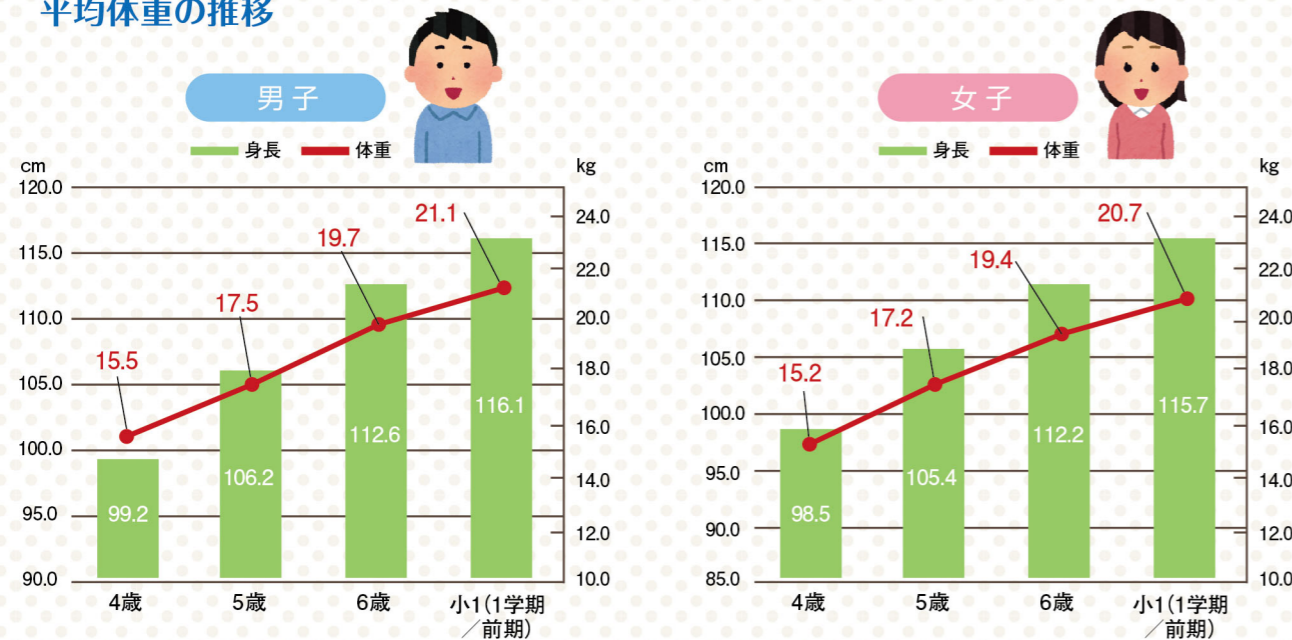


全国および北海道の身長・体重の平均値は文部科学省令和元年度学校保健統計調査(速報値)から抜粋

今回集計に使った年齢別、性別ごとの集計人数

	身長				体重			
	4歳	5歳	6歳	小1(1学期/前期)	4歳	5歳	6歳	小1(1学期/前期)
男子	3,039	2,679	1,521	616	3,062	2,701	1,526	619
女子	2,881	2,598	1,427	558	2,903	2,622	1,438	569

①北海道ユニットセンター参加児の4歳から小学1年の男女別平均身長と平均体重の推移



②エコチル調査参加児と全国および北海道の体格の男女別比較

エコチル調査の小学1年の質問票に記載された身長・体重(1学期/前期)から計算した平均値と、全国および北海道の発育状態(6歳(小学1年))の平均値を比較してみました。
身長・体重ともに、比較したエコチル調査と北海道と全国の3つの数値に大きな違いはないものの、男女ともに身長・体重の平均値が最も大きかったのは北海道の子どもたちでした。

③成長曲線を使ってみましょう

「編集部が聞いてみました!」で紹介されているように、成長曲線はお子さんの発育を記録するのに大変有効なグラフです。身長や体重の伸びを確認するだけでなく、成長障害などの病気の早期発見にも役立ちます。ぜひ同封の記録用紙をご活用ください。また、パソコンで入力して記録することもできます。日本小児内分泌学会のホームページからご確認ください。



日本小児内分泌学会URL:
<http://jspe.umin.jp/index.html>



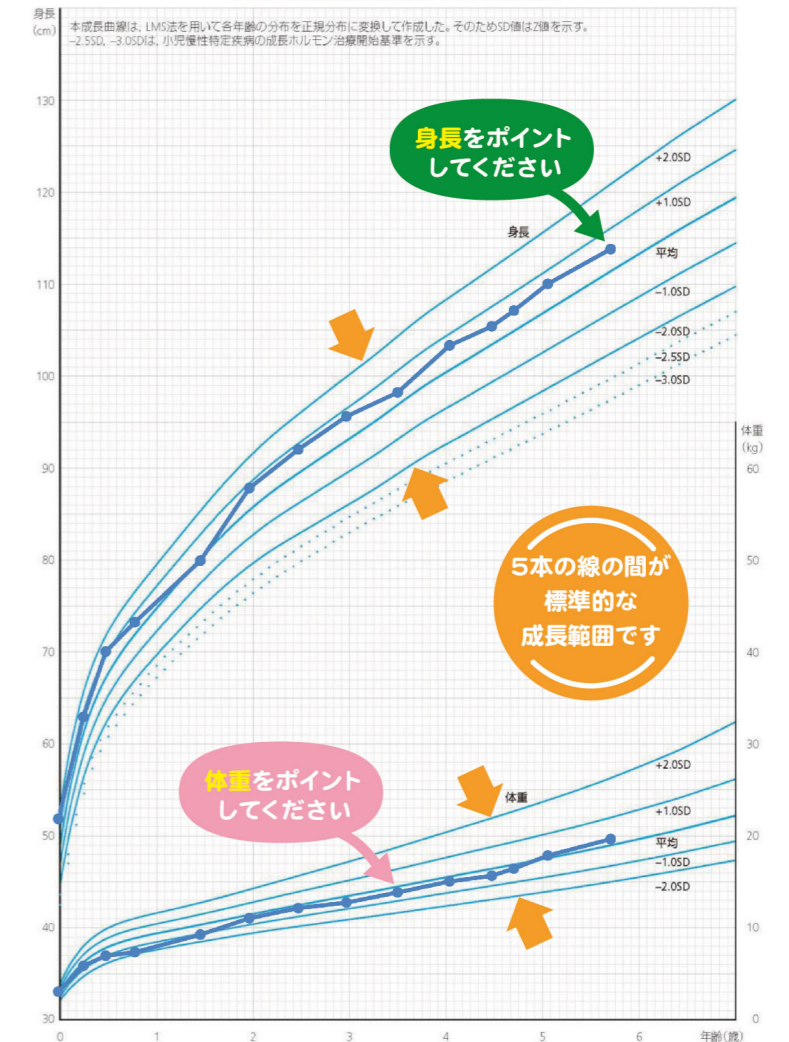
男子の標準身長・体重曲線(0-6歳)を活用した成長記録例

一般社団法人日本小児内分泌学会、著者:加藤則子、磯島豪、村田光範 他: Clin Pediatr Endocrinol 25:71-76, 2016 ©JSPE



子どもの成長記録

横断的標準身長・体重曲線(0-6歳) 男子(SD表示)
(2000年度乳幼児身体発育調査・学校保健統計調査)



著作権:一般社団法人日本小児内分泌学会、著者:加藤則子、磯島豪、村田光範 他: Clin Pediatr Endocrinol 25:71-76, 2016